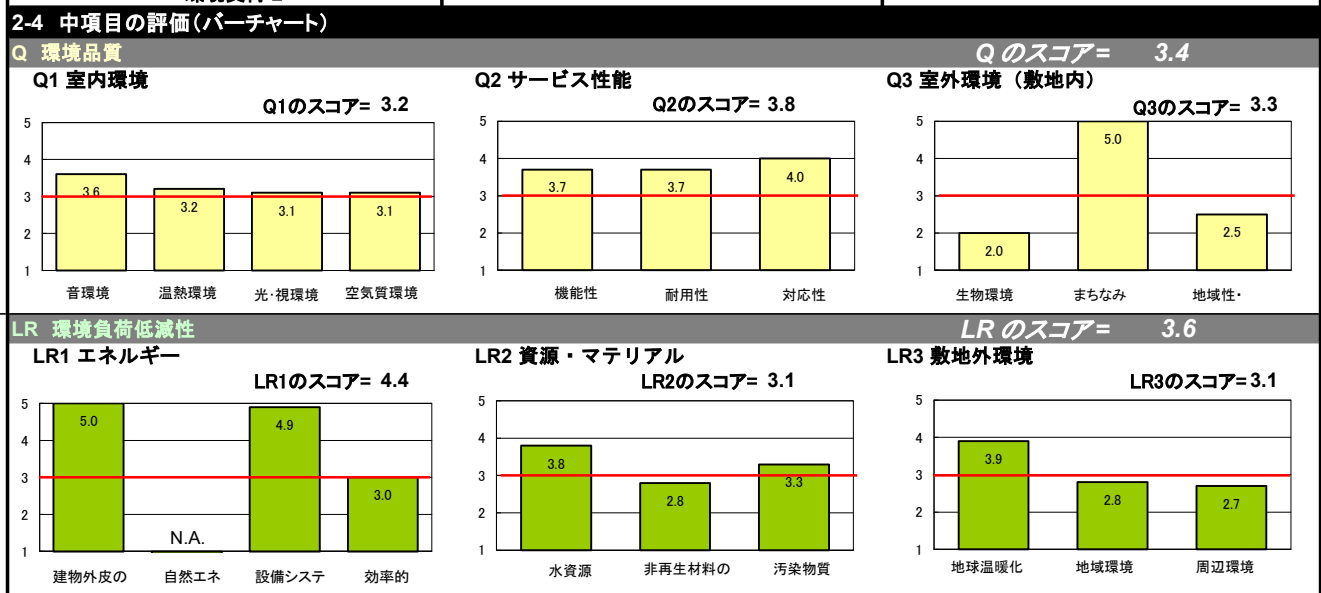
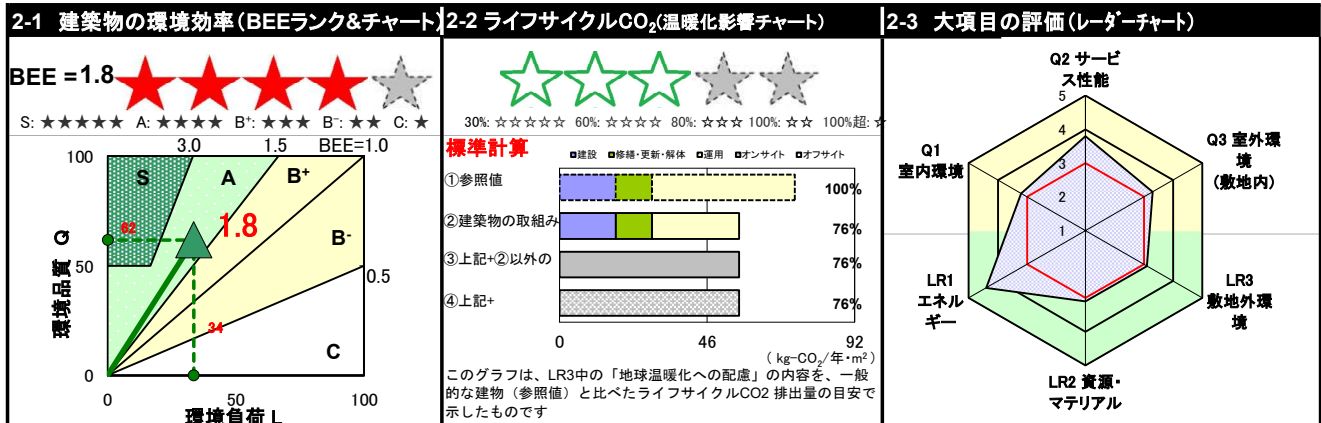


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉高2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	日本光電工業鶴ヶ島新工場計画	階数	地上2F	
建設地	埼玉県鶴ヶ島市大字太田ヶ谷1217番地	構造	S造	
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	1,397 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2025年8月6日	
敷地面積	34,463 m ²	作成者	戸田建設株式会社	
建築面積	9,346 m ²	確認日	2025年8月6日	
延床面積	17,724 m ²	確認者	戸田建設株式会社	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
敷地内・外環境やサービス性能に配慮している。建築物衛生法を満たす換気量を採用。エネルギー消費量の削減に努めたり、節水機能を確保しているなど省エネルギー性能への配慮を取り組んでいる。	特に無し。	
Q1 室内環境 建築物衛生法を満たす換気量を採用している。	Q2 サービス性能 外壁仕上げ材の補修必要間隔や空調・給排水管の更新必要間隔を多くとっている。空間のゆとりや荷重のゆとりを配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) まちなみの景観の配慮や地域性への配慮、快適性の向上に取り組んでいる。
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制や設備システムの高効率化により省エネルギー性に貢献している。	LR2 資源・マテリアル 節水機能や再利用可能性向上への取組みを確保している。	LR3 敷地外環境 雨水排水負荷低減により雨水流出抑制対策等を実施している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
日本光電工業株式会社新工場計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.4	
Q1 室内環境					0.34		-	3.2	
1 音環境				3.6	0.15	-	-	3.6	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		T-2仕様のサッシを使用		5.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音		床:タイルカーペット、天井:ロックウール化粧吸音板		4.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				3.2	0.35	-	-	3.2	
2.1 室温制御				3.5	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		複層ガラスを採用		5.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.1	0.25	-	-	3.1	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-		
1 昼光率				3.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度		事務室 平均照度 532lx		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.1	0.25	-	-	3.1	
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	-	-		
4.2 換気				3.3	0.30	-	-		
1 換気量		基準の1.2倍以上		4.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.8	
1 機能性				3.7	0.40	-	-	3.7	
1.1 機能性・使いやすさ				2.6	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		事務室執務スペース 11㎡/人以上を確保		4.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画				1.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務室 天井高2.9m以上かつ屋外の情報が得られるような窓を設置		5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		自販機談話コーナー 執務スペース面積の3.8%を確保		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画		コンセプトシート・内観パース有り		5.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		内装外装 防汚性及び清掃性の高い製品を使用		5.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.7	0.30	-	-	3.7	
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		地域系統Z Z=1.0 重要度係数I I=1.25		4.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		防振吊金具を使用している		4.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.22	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		ALC版:50年		5.0	0.22	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.11	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水 VLP・PLP 給湯 SUS 排水・通気 VP Eは不使用		5.0	0.22	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.22	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高 3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.06	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			4.0	0.30	-	-	
製造ライン 4000N/m²							
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	天井内にケーブルラックを設けコロガシ配線としているため、電気配線の更新・修繕が容易である 天井内にケーブルラックを設けコロガシ配線しているため、電気配線の更新・修繕が容易である	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.36	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			5.0	0.40	-	-	5.0
敷地周囲に樹木を植樹し、外壁に木製ルーバーを計画							
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.64	5.0	0.08	-	5.0
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化			BEI=0.61	4.9	0.65	-	4.9
4 効率的運用			3.0	0.26	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水			自動水栓、節水コマ採用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			雨水ろ過装置を設置し、雨水を雑用水に供給している	4.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			OAフロア採用	4.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			ノンフロン断熱材を採用	4.0	0.50	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率76%	3.9	0.33	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			雨水流出抑制対策等を実施しているが、レベル5を満たさない	4.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.9	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			木製ルーバーによる反射光の低減	4.0	0.30	-	-

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

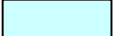
建物名称	日本光電工業鶴ヶ島新工場計画	BEE	1.8	BEEランク	★★★★
------	----------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア					
3.9	+	2.3	=	6.2	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減			スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>				
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9	
ライフサイクルCO2排出率76%				
(2) 緑の保全・創出			スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>				
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0	
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0	
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0	
特になし				

 : 入力欄